

「地質情報展 2025 くまもと —火の国・水の国！大地のふしぎ—」開催報告

持丸 華子¹・利光 誠一²・清水 徹²・長江 敦子²・宍倉 正展³・小松原 純子³

1. はじめに

「地質情報展」は「地質」を身近に感じていただくため、開催地域周辺の地質や最新の産総研の研究成果を含め、地震・津波・火山噴火・地盤災害等の仕組みを、わかりやすく体験的に展示・解説するイベントです。1997年に福岡県からスタートし(斎藤, 2001), 毎年全国各地に場所を変えて開催し(須田ほか, 2025 など), 2025年で29回目を迎えました。

2025年の地質情報展は「地質情報展 2025 くまもと —火の国・水の国！大地のふしぎ—」として令和7年9月13日(土)から15日(月・祝)までの3日間、熊本県の熊本城ホールで開催し、1,366名の方々にご来場いただきました。想定していた来場者数を大きく上回り、盛況となりました。

全体の開催体制は以下のとおりです。

【主催】産総研地質調査総合センター・九州センター、日本地質学会

【共催】阿蘇ジオパーク推進協議会

【後援】熊本県、熊本市、熊本市教育委員会、日本ジオパークネットワーク、九州地質調査業協会、日本応用地質学会九州支部、熊本日日新聞社

【連携】地質、観光文化、防災、熊本城調査に関わる公的機関からの出展(熊本市立熊本博物館、阿蘇ジオパーク推進協議会、熊本県観光文化部、熊本市防災対策課、熊本市都市安全課、熊本城調査研究センター、天草市立御所浦恐竜の島博物館、御船町恐竜博物館)、九州センターの連携企業からの出展(株式会社 ExtenD、株式会社坂本石灰工業所)

【助成金】「地質情報展 2025 くまもと」は、JSPS 科研費(課題番号 25HP0007)及びセコム科学技術振興財団(助成番号: R061215)の助成を受けたものです。

本稿では当日の会場の様子、アンケート結果を中心に報告いたします。

2. テレビや新聞での広報

開催前日の9月12日(金)に、熊本朝日テレビの夕方6時台の番組において、会場前から開催告知の生中継で5分間出演しました(第1図)。お茶の間に地質図や地盤液状化について伝えられたことは何よりの広報活動となりました。さらに、熊本日日新聞の9月14日(日)の朝刊に、開催の様子の記事を載せていただきました。

3. 展示内容と会場の様子

熊本城ホール1階展示ホールAにおける、展示物の配置と会場の様子を第2図及び第3図に、GSJ及び九州センターの展示パネル一覧を第1表に、GSJ以外の展示パネル・ブース一覧を第2表、第4図に示しました(パネルの内容は、「地質情報展ポスターアーカイブ」で歴代のポスターも含め公開中(<https://www.gsj.jp/event/johoten/archives/index.html>))



第1図 開催前日に熊本朝日テレビの生放送に出演(放送中の様子)。

1 産総研 地質調査総合センター地圏資源環境研究部門

2 産総研 地質調査総合センター連携推進室

3 産総研 地質調査総合センター活断層・火山研究部門

キーワード: 地質情報展, 熊本, 体験・実験コーナー, 展示パネル

第1表 GSJ及び九州センターの展示パネルの一覧表.

パネルタイトル
1 産総研紹介
2 GSJ紹介
3 地質情報展紹介
4 (九州センター) 土壌中水銀の簡便・高感度検出
5 (九州センター) 土壌センサを支えるダイヤモンド技術
6 (九州センター) 産総研九州センター
7 (九州センター連携企業) 土壌測定が守る私たちの未来
8 (九州センター・GSJ連携) テロワールをセンサーで可視化
9 熊本周辺の地質年表
10 熊本周辺の地質
11 床貼り地質図凡例
12 床貼り地質図見方の説明(九州地方)
13 九州地方・沖縄の県の石
14 熊本県の県の石説明テキスト
15 地球化学図 一元素濃度で見える地図ー
16 熊本県の土砂災害
17 斜面災害を知る:空から,宇宙からの調査・モニタリング技術
18 熊本県の活断層
19 熊本県の活断層
20 熊本県の活断層 立田山断層
21 熊本県の活断層 水前寺断層帯
22 熊本県の活断層 日奈久断層帯
23 九州の活火山
24 霧島新燃岳2025年噴火(調査経過報告)
25 阿蘇火山の活動史と景観
26 大規模火砕流とカルデラ
27 床貼り大規模火砕流マップの説明
28 床貼り大規模火砕流マップの説明
29 熊本県の温泉
30 熊本地域の地下水
31 地下水の価値を知っていますか?
32 地熱発電
33 九州地方の金鉱床
34 九州の石炭開発と天草炭田
35 土壌中の天然金属類を知る 表層土壌評価基本図

閲覧日:2026年2月5日).印刷配布物としてご活用いただけます).床貼り展示は,九州の地質図,阿蘇4火砕流堆積物分布図,熊本市内の地表断層図の3つを設置しました(第3図4,5,6).初日の開会式では主催者である地質調査総合センターの中尾信典総合センター長,産総研九州センターの植村 聖所長,日本地質学会の山路敦会長が挨拶されました(第3図4).展示では,2025年の新燃岳噴火の最新研究成果,阿蘇火山や斜面災害,熊本の地下水などの研究成果をわかりやすく研究者が解説しました.床貼り展示についても,拡大表示した大きな地図の上に乗って解説を聞くことでより身近に感じていただけたようです.また,今はフィールドでも見ることが困難な様々な品質の石炭についても展示し,九州の石炭の歴史などについても解説しました.今回の体験・実験コーナーは,

第2表 産総研以外の展示パネル・ブースの一覧表.

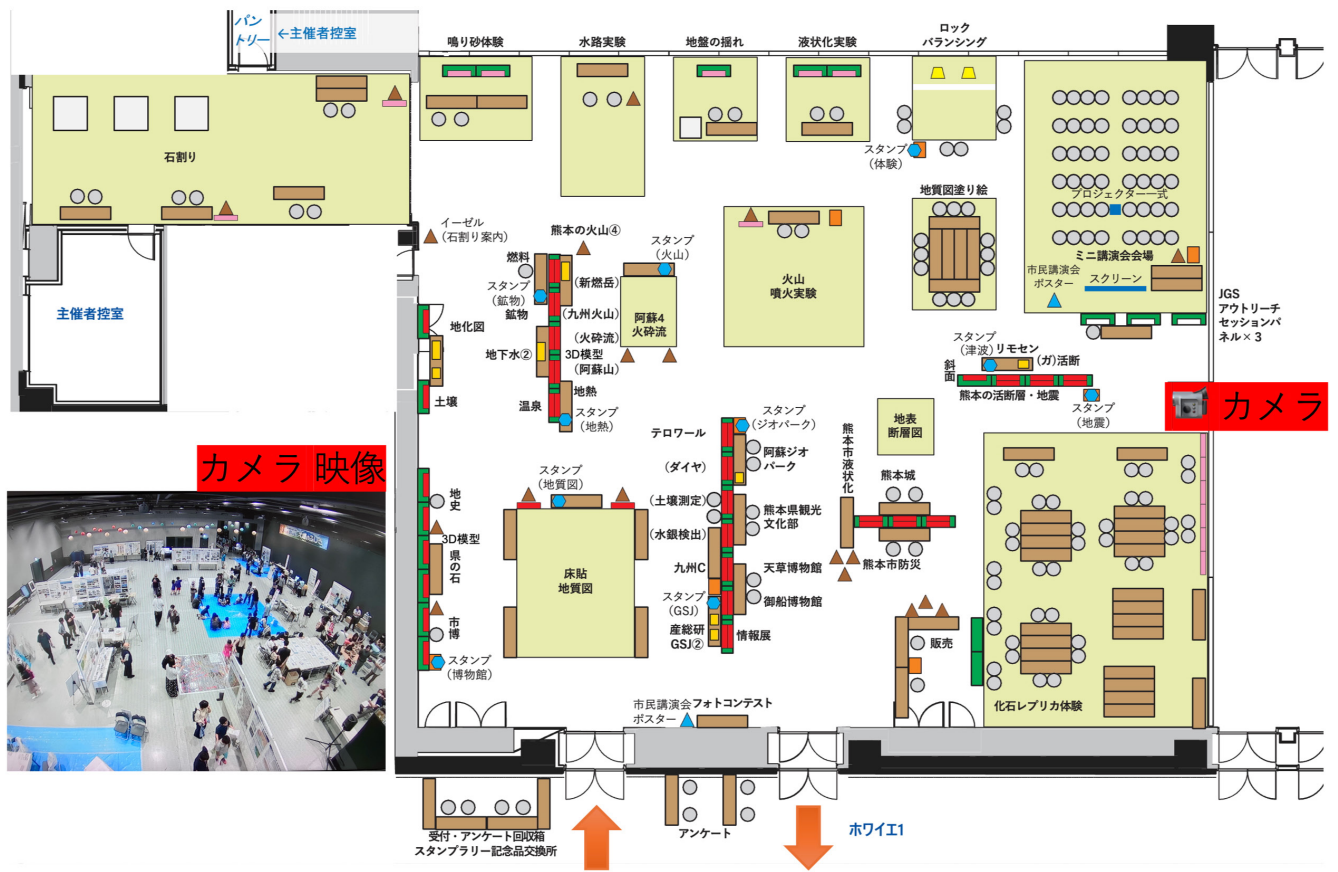
パネル・ブース
阿蘇ジオパーク推進協議会
36 阿蘇ユネスコ世界ジオパークの紹介
37 阿蘇ユネスコ世界ジオパークの紹介
熊本城調査研究センター
38 熊本城築城のヒミツ—最強の城の作り方
39 どこから持ってきた?①熊本城の栗石
40 どこから持ってきた?②熊本城の築石
熊本博物館(市博)
41 熊本博物館資料紹介①(ミエゾウの歯)
42 熊本博物館資料紹介②(屋外展示メガロドン石灰岩)
熊本市防災計画課
43 揺れやすさマップ
44 液状化ハザードマップ
45 危険度マップ
熊本市都市安全課
46 地盤液状化防止事業紹介
47 地盤液状化防止事業紹介
48 地盤液状化防止事業紹介
熊本県観光文化部・熊本地震震災ミュージアム
49 平成28年(2016年)熊本地震の震災遺構の紹介
50 平成28年(2016年)熊本地震の震災遺構の紹介
日本地質学会・熊本大学・熊本の恐竜博物館
51 御所浦恐竜の島博物館と天草の恐竜の紹介
52 御船博物館と御船層群の紹介
日本地質学会
53 フォトコンテスト(サイネージ)
54 市民講演会ポスター

第3表 体験・実験コーナーの一覧表.

体験・実験コーナー
1 石割り体験
2 火山噴火実験
3 化石レプリカづくり
4 地盤液状化実験
5 地盤の揺れ実験
6 水路堆積実験
7 鳴り砂
8 塗り絵で地質図
9 ロックバランスング

石割り体験,火山噴火実験,化石レプリカづくり,地盤液状化実験,地盤の揺れ実験,水路堆積実験,鳴り砂,塗り絵で地質図,ロックバランスングの9つを設置しました(第3表,第5図).

パネル展示に加えて,GSJ紹介コーナー付近で,17インチのサイネージを使って,地質図Naviの紹介と実演,地質図作成や調査の研修にまつわる動画を設置しました.併せて,GSJ研究者執筆の一般向け書籍も配架しました.地表断層図の床貼り展示付近では,17インチサイネージを設



第2図 会場レイアウトと会場カメラからの映像。

置して、立田山断層に関わる熊本城公園内ボーリング調査のドローン撮影動画を放映しました。このほか、GSI以外から連携して出展していただいた熊本県観光文化部、熊本市防災対策課・都市安全課、熊本城調査研究センター、熊本市立熊本博物館、阿蘇ジオパーク推進協議会などの連携機関・団体の方々は、出展パネルの紹介のためのショートトークの時間を設けたり、家の庭を模した地盤の液状化実験や火山灰の観察などの体験イベントを実演されたりしました(第4図)。

4. GSI ミニ講演会

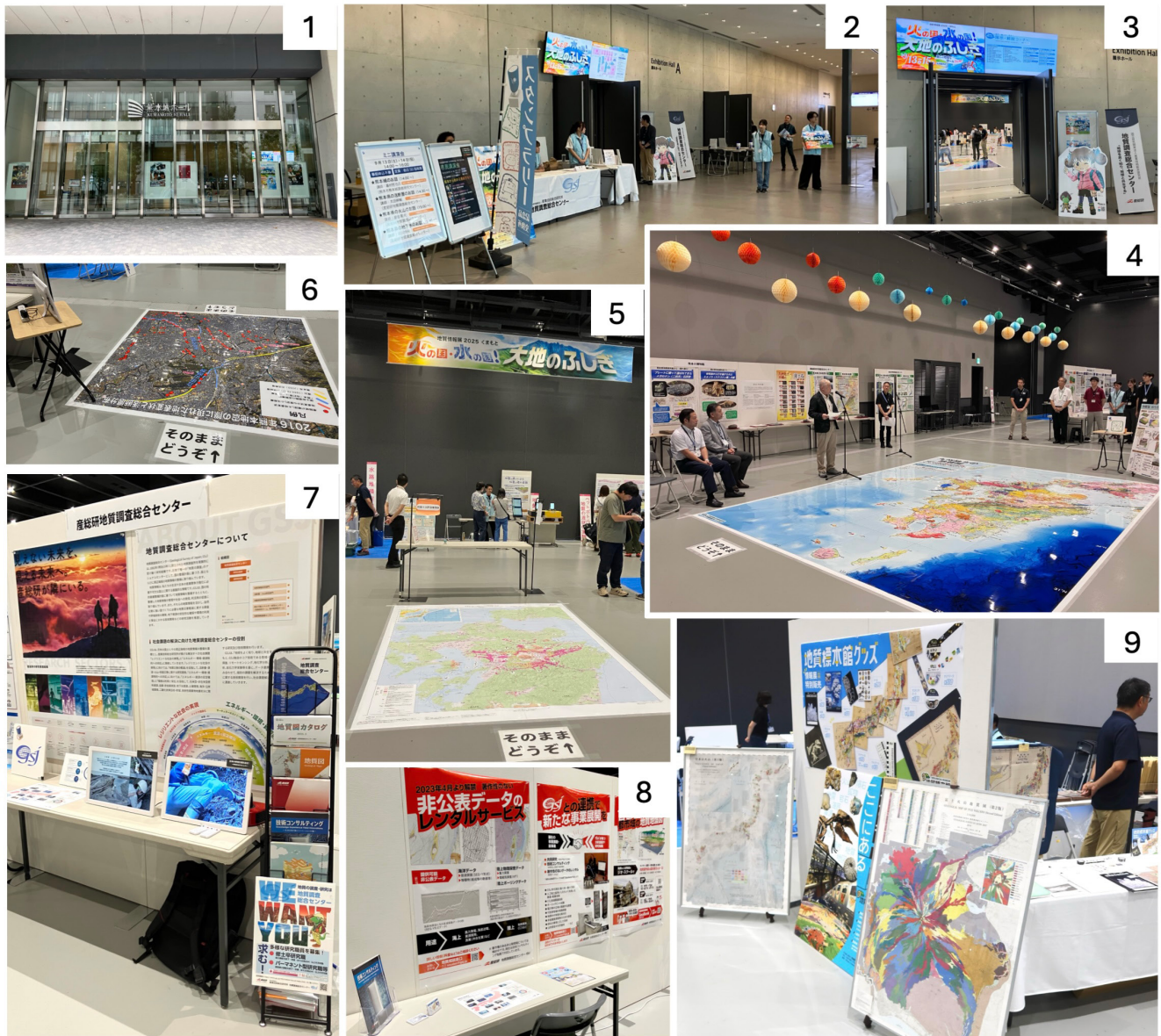
4人の研究者による市民向け講演会を、9月13日(土)及び14日(日)の14時から16時まで行いました。熊本市熊本城調査研究センター嘉村哲也氏による熊本城のお話、GSIの研究者、太田耕輔氏による熊本県の活断層のお話、井川怜欧氏による熊本県の地下水のお話、星住英夫氏による熊本県の火山のお話という内容でした(第6図)。毎回30～40名の方に聴講いただきました。

最終日(15日)は、日本地質学会主催の市民講演会「熊本

から始める最新恐竜学」が熊本城ホール3階大会議室で開催されたため、ミニ講演会は開催しませんでした。講演会会場を有効利用するため、この市民講演会をミニ講演会場でライブ中継しました(第4図3)。20名近い方が視聴されていましたので、地質情報展来場者にも好評であったと思います。

5. アンケート結果

来場者アンケートの回答数は401件で、この回答から見ると、小学生と一般が来場者の8割以上を占めたようです(第7図)。熊本県内からの来場者が9割以上を占め、7割が熊本市内からでした。本イベントを知った経緯として最も多かったのは「友人・知人から」が78件でアンケート回答者の約20%でした。今回特徴的であったのは、産総研以外のWEBページやSNSで51件、その他56件と、事務局が直接宣伝したもの以外からの告知を見て来場された方が多かったことです。次に、熊本博物館での応援イベント(宍倉ほか、2026)の参加者も42件と高い効果があったことがうかがえます。「新聞・テレビを見て」は、31件



第3図 会場の様子。(1)熊本城ホール入り口、(2)会場受付、(3)会場入り口、(4)開会式と床貼り地質図、(5)阿蘇4火砕流床貼り、(6)地表示断層図床貼り、(7)GSJ説明ブース、(8)GSJ連携推進室ブース、(9)地質図と地質標本館グッズ販売ブース。

でした。展示内容は9割近くがわかりやすかったと回答されました。とても難しかったと回答された方も、自由記述では楽しかったと書かれており、展示自体は楽しんでいただけていたようです。関心を持った体験については、鳴り砂、石割り体験、化石レプリカづくり、火山噴火実験と続きました。塗り絵は学校関係者からの関心が高く、授業用に数枚持ち帰らせて欲しいとの申し出もありました(地質標本館ウェブサイトからダウンロードできますので今後ともご利用ください；<https://www.gsj.jp/Muse/kids/play/coloring/index.html> 閲覧日：2026年2月10日；利光ほか，2026)。ロックバランスिंगのみにチェックをつけた方も多く、それぞれに関心を持たれたようでした。パネル

や床貼り展示を含む全体的なテーマに関する質問では、床貼り地質図、火山、熊本の地質に高い関心が寄せられました。自由記述欄では、211件の温かいコメントをいただきました。どのコメントも丁寧で、ハートマークやニコニコ顔の絵文字も書かれており、来場者の満足された様子がうかがえました。

アンケートと並行して、会場をくまなく回っていただくためにスタンプラリーも企画しました。スタンプを押すポイントを10か所設置し、全て回った方には記念品を差し上げました。スタンプラリーの参加者は、来場者の6割を超えたようで、アンケート項目には入れませんでしたが、人気の企画であったと考えられます。



第4図 GSJ以外の展示。(1)産総研九州センターと連携企業、(2)日本地質学会フォトコンテスト作品上映と市民講演会のポスター、(3)日本地質学会の市民講演会を会場でLive中継、(4)熊本の博物館(船橋町恐竜博物館・天草市立御所浦恐竜の島博物館)、(5)熊本博物館、(6)GSJの県の花・熊本の地質パネル及び熊本博物館出展の熊本の「県の花」展示、(7)熊本県観光文化庁 熊本地震震災ミュージアム、(8)阿蘇ジオパーク推進協議会、(9)熊本市熊本城調査研究センター、(10)熊本市防災計画課、(11)熊本市都市安全課。

6. おわりに

地質情報展 2025 くまもとの開催期間は周辺の大規模な秋のお祭り(藤崎八幡宮例大祭)の開催と一部重複がありましたが、たくさんの方々に地質情報展会場にお越しいただき、子どもだけでなく、大人も目を輝かせて、身近な地質を学ぶ体験を楽しんでいただけたようでした。今回は特に、多くの外部組織の方々にご協力いただき、同じ場を共

に盛り上げることを通じて、GSJ及び九州センターの研究活動をご理解いただくことができました。その中でも、熊本博物館、阿蘇ジオパーク推進協議会の方々にはGSJの展示パネル等を熊本地震10年となる今年(2026年)のイベントでご活用いただけることとなりました。第4表に示した内部運営体制のなか、67名の産総研職員に加え熊本大学の学生アルバイト(21名)にご協力いただきました。また、熊本博物館の皆さま、熊本市教育委員会の皆さま



第5図 体験ブースの様子。(1)ロックバランシング,(2)鳴り砂,(3)水路堆積実験,(4)地盤液状化実験,(5)火山噴火実験,(6)火山噴火実験に参加する熊本県PRキャラクター「くまモン」(©2010熊本県くまモン2025/9/15),(7)塗り絵で地質図,(8)地盤の揺れ実験,(9)石割り体験,(10)化石レプリカづくりとその展示物。

ま、熊本県観光文化部の皆さま、日本地質学会 2025 熊本大会 LOC の皆さま、隣市町村の教育委員会、コミュニティセンター、書店の皆さまには、熊本県内でのポスターやチラシの配布など広報にご協力いただきました。共催、後援、連携、協力いただきました、全ての皆様がこの場を借りて、ご尽力に深く感謝申し上げます。

文 献

- 斎藤 眞(2001)地質情報展—地質学の普及をめざした地質調査所の試み—. 地学教育, 54, 47-59.
- 穴倉正展・清水 徹・持丸華子・利光誠一・宮崎一博・川邊禎久(2026)「地質情報展 2025 くまもと応援

本号に掲載された © 表記のある写真の著作権は、それぞれの権利者に帰属します。

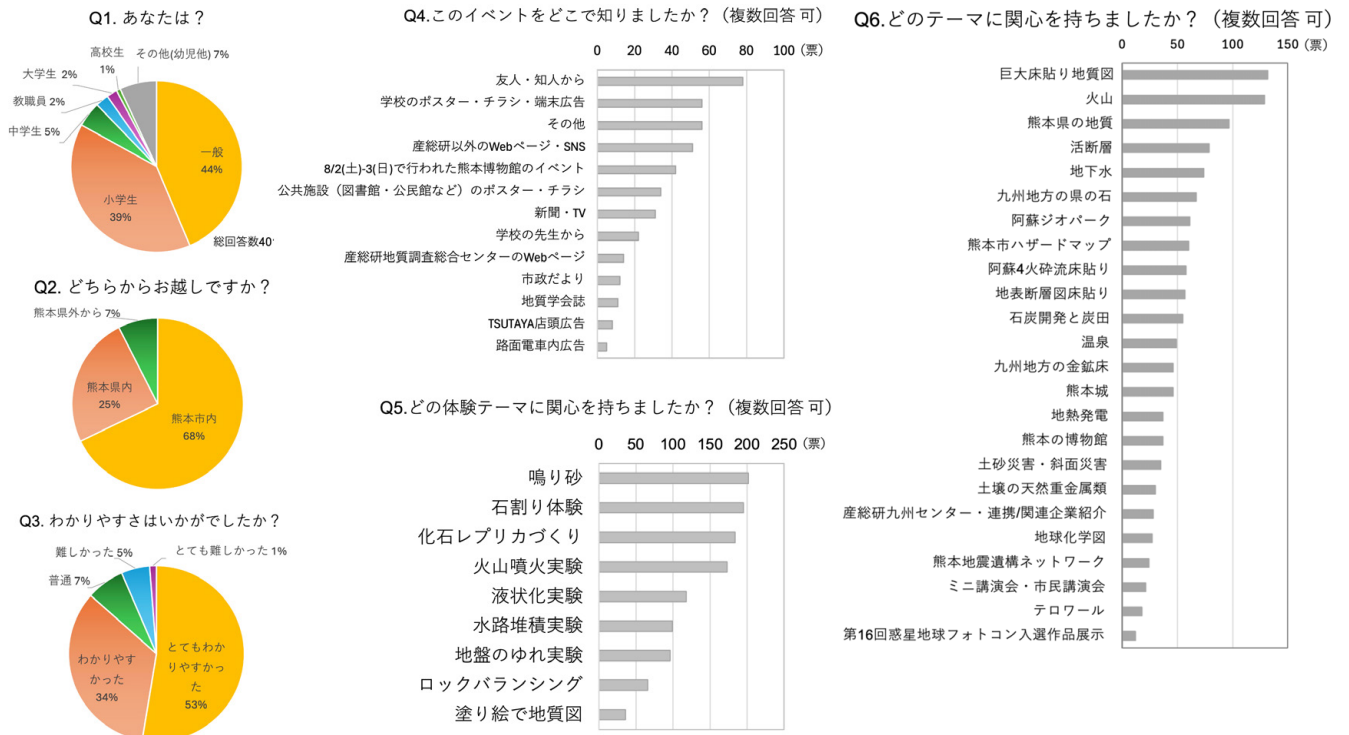


第6図 会場内のミニ講演会の様子。演者写真は左上から時計回りで、嘉村哲也氏、太田耕輔氏、井川怜欧氏、星住英夫氏。

プロジェクト」開催報告. GSJ 地質ニュース, 15, 94-97.

須田 好・宍倉正展・利光誠一・小松原純子(2025)「地質情報展 2024 やまがた 一山と盆地をつくる大地のヒミツ」開催報告. GSJ 地質ニュース, 14, 71-78.

利光誠一・長江敦子・金木俊也(2026)地質情報展 2025 くまもと: 体験学習コーナー「塗り絵で地質図」. GSJ 地質ニュース, 15, 投稿中.



第7図 アンケート結果.

第4表 「地質情報展2025くまもと」の内部運営体制.

地質情報展企画運営委員会					
企画運営委員会					
委員長					
田中 裕一郎(～2025.6.19) 岩男 弘毅 (2025.6.20～)					
委員					
水落 裕樹	太田 耕輔	金木 俊也	瀬口 寛樹	須田 好 (～2024.11.30)	穴倉 正展 (～2025.3.31)
小松原 純子(～2025.7.31)	清水 徹 (2025.4.1～)	持丸 華子 (2024.12.1～)	利光 誠一		
オブザーバー					
穴倉 正展 (2025.4.1～)					
事務局支援					
川畑 史子	長江 敦子				
「地質情報展2025くまもと」実施スタッフ					
パネル作成, 展示・解説コーナー説明					
宮地 良典	山崎 誠子	天谷 宇志	木尾 竜也	星住 英夫	清水 徹
井川 怜欧	水落 裕樹	太田 耕輔	丸山 正	野田 篤	斎藤 真
中尾 信典	吉岡 秀佳	遠山 知亜紀	川畑 大作	大熊 茂雄	吉見 雅行
東郷 陽子	森川 徳俊	小野 昌彦	山谷 祐介	実松 建造	宮下 由香里
星住 英夫	下舞 千春	山下 健一	岩崎 渉	竹村 謙信	村田 賢彦
原田 美樹	火山活動RG	鉱物資源RG	FREA地熱研究チーム	九州C連携推進室	
体験・実験コーナー説明					
石野 沙季	落 唯史	中澤 努	兼子 尚知	川邊 禎久	福田 和幸
西岡 芳晴	瀬口 寛樹	小松原 純子	土田 恭平	利光 誠一	中島 礼
中村 由美	宮地 良典	村岡 やよい	米岡 佳弥	橋本 優里	藪田 桜子
会場運営, 物販, 開会式等					
岩男 弘毅	清水 徹	持丸 華子	利光 誠一	小松原 純子	竹田 幹郎
穴倉 正展	百目鬼 洋平	山谷 忠大	中尾 信典	植村 聖	長江 敦子
常木 俊宏	比田 茜	藤原 智晴			
GSJミニ講演会(講演者及び会場準備担当者)					
太田 耕輔	星住 英夫	井川 怜欧	清水 徹	利光 誠一	穴倉 正展
告知ポスター, チラシ, 会場パンフレット, WEBページ作成等					
川畑 晶	河村 幸男	清水 恵	都井 美穂	長江 敦子	正根寺 幸子
清水 徹					
パネル校正・レイアウト					
利光 誠一	清水 恵	持丸 華子	清水 徹		

MOCHIMARU Hanako, TOSHIMITSU Seiichi, SHIMIZU Toru, NAGAE Atsuko, SHISHIKURA Masanobu and KOMATSUBARA Junko (2026) Report on Geoscience Exhibition in Kumamoto 2025.

(受付：2026年2月10日)